

要 望 書

九州新幹線全線開業に伴う
2次・3次交通アクセスの早期改善について

平成21年10月19日

熊本経済同友会
熊本商工会議所

九州新幹線の全線開業で、九州は縦に短くなり、熊本市は、福岡市から30数分、関西地方から広島県などの中国地方を経て3時間余りで結ばれます。これにより、熊本県を訪れる観光客やビジネス客などの交流人口が増加するとともに、産業や観光などに大きな変化をもたらすことが見込まれます。

そのような中、九州新幹線全線開業効果を最大限活用し、熊本の魅力である阿蘇・天草・熊本城などの観光地に誘客を図るとともに、大津・菊陽地区など工業の集積地へのビジネス客の利便性向上のためにも、九州新幹線「さくら」が熊本駅に着いてからの県内横軸の2次・3次交通アクセスについて早期改善を進めていくことが重要です。

熊本駅から阿蘇方面・天草方面への2次交通アクセスを、定時性・速達性・分かり易さなどの面から鉄道をベースに考え、その先の3次交通アクセスを、各駅等から観光地などを結ぶバスなどと捉えてみると、2次・3次交通アクセスにおけるソフト面での「ダイヤ・乗継」「交通アクセス案内」「公共交通の利用促進」に関する早期改善が喫緊の課題であります。

また、熊本市内においても、熊本城周辺・水前寺公園周辺・本妙寺周辺などの各観光地を効率的に周るために同様の課題を擁しております。

「ダイヤ・乗継」では、2次交通の鉄道における速達性・利便性の向上、2次・3次交通の鉄道とバス等との乗継利便性の向上、また、観光地内での観光時間を考慮したバスダイヤ等の調整を図る必要があります。

「交通アクセス案内」では、2次交通駅・バスターミナルなどでの乗換え場所等を示した交通アクセス案内の統一、3次交通を降りてから観光地まで、また、観光地内での案内サイン等の充実を図ることが必要であります。

「公共交通の利用促進」では、来熊前から県内公共交通の情報が入手可能である公共交通アクセス検索システムの導入や、バス会社等を選ぶことなく乗車できる経済的な熊本市内公共交通 1 日・2 日共通乗車券の導入が必要です。また、熊本観光の魅力と、観光地までの公共交通の利便性・経済性・環境適性の高さを県外に広く P R する必要があります。

熊本駅からの 2 次・3 次交通アクセスの改善は、速達性・定時性・分かり易さなどの面から、観光客だけでなくビジネス客や県民の足としても大きな効果を生むことはもとより、公共交通機関の利用促進が図れることによる CO₂ の排出削減など環境面における効果も得られます。

九州新幹線全線開業により、県外から多くの方々が来熊することが見込まれますが、“おもてなしのこころ”を大切にし、また来たいと思われるような、熊本県にふさわしい交通アクセスが必要です。

熊本県及び熊本市におかれましては、九州新幹線全線開業が間近に迫っている状況にご配慮いただき、要望事項に一刻も早く取り組んでいただくよう、強く要望します。

【要望事項】

九州新幹線全線開業に伴う 2 次・3 次交通アクセスの早期改善

1. ダイヤ・乗継

(1) 2 次交通アクセスの速達性、利便性の向上

- a. J R 豊肥本線、三角線の設備改善等
- b. 熊本市内循環バスの充実

(2) 2 次・3 次交通アクセスの乗継利便性の向上

- a. J R 豊肥本線、三角線とバスとの乗継ダイヤの充実
- b. 観光地でのバス等の乗継ダイヤの充実

2. 交通アクセス案内

(1) 駅・電停・バスターミナル等での交通アクセス案内の統一

- a. スムーズな乗継のための交通アクセス案内の統一

(2) 観光地での案内サインの充実

- a. バス・市電等下車後及び、観光地での案内サインの充実
- b. 観光案内所の設置、パンフレットの充実

3. 公共交通の利用促進

(1) 公共交通アクセス検索システムの早期導入

- a. ルート、ダイヤ、料金等が検索可能なシステムの導入

(2) 共通乗車券の導入

- a. 熊本市内公共交通 1 日・2 日共通乗車券の導入

(3) 観光施策との連動と公共交通の P R

- a. 観光地でのイベント等に対応した公共交通の整備
- b. 坪井川舟運の早期整備
- c. 公共交通の利便性・経済性・環境適性の高さの P R

熊本経済同友会

代表幹事 小 栗 宏 夫
代表幹事 大久保 太 郎

熊本商工会議所

会 頭 中 尾 保 徳

熊本経済同友会 インフラ整備部会
熊本商工会議所 地域開発委員会

部 会 長 森 元 豊
委 員 長

熊本商工会議所 交通運輸部会

部 会 長 森 泰 司

【参考】 実地調査に基づく改善案

平成 21 年 4 月～5 月にかけて、阿蘇方面、天草方面、熊本市内の鉄軌道、バス路線等に関する「ダイヤ・乗継」「交通アクセス案内」「公共交通の利用促進」について実地調査を実施し、調査箇所における改善案を下記のとおり取りまとめた。 [] は、実地調査箇所の問題点

1. ダイヤ・乗継

(1) 2 次交通アクセスの速達性、利便性の向上

a. JR 豊肥本線、三角線の設備改善等

o JR 豊肥本線の直通快速列車等の運行、行き違い設備等の整備

[] 熊本駅—阿蘇駅までの移動時間が長い

- ・熊本駅から乗換え不要のディーゼル列車により、主要駅（新水前寺駅、肥後大津駅、立野駅、阿蘇駅等）に停車する直通特急もしくは快速列車の運行
- ・新幹線と良好な接続確保を目的とした増便を行なうための行き違い設備の整備

o JR 三角線の快速列車等の運行

[] 熊本駅—三角駅までの移動時間が長い

- ・宇土駅など主要駅のみ停車する特急もしくは快速列車の運行

b. 熊本市内循環バスの充実

o 熊本市内観光地を結ぶ、新たな循環バス「もりめぐりん（仮称）」の運行

[] 熊本城以外の観光コースをまわる循環バスがない

- ・「もりめぐりん（仮称）」コース：交通センター・熊本城（桜の馬場）・島田美術館前・加藤清正像・本妙寺・壺井橋・熊本大学前・子飼橋前・水前寺駅前・水前寺公園前・新水前寺駅前・通町筋・交通センター
（ の箇所は「しろめぐりん」と乗換え可能箇所）
- ・子飼橋、熊大方面からの水前寺方面への公共交通機関のルートは少ないため、生活の足としても利用可能（日赤、市民病院への移動）
- ・今後建設される熊本城桜の馬場観光交流施設（仮称）の歴史文化体験施設で、熊本の歴史等を映像等で紹介した後、循環バスで熊本城や本妙寺などの歴史的史跡などを周遊

o 「しろめぐりん」の周遊コースの運行見直し

[] 「しろめぐりん」の運行本数が少ない

- ・逆周りコース、周遊ダイヤ 1 本／30 分→1 本／20 分

(2) 2次・3次交通アクセスの乗継利便性の向上

a. JR豊肥本線、三角線の乗継ダイヤの充実

○ JR豊肥本線の阿蘇方面へのダイヤの調整

肥後大津駅発阿蘇方面行きの午前11時台の列車がない

- ・観光客が多い時間帯である午前中のダイヤ充実

○ JR三角線と快速あまくさ号のダイヤ調整

熊本市内の渋滞の影響がないJR三角線と、快速あまくさ号または、シークルーズとのダイヤ結節の整理が必要

- ・乗継利便性、定時性からシークルーズが結節していない便については、快速あまくさ号を三角駅へ乗り入れし、いずれかへの乗継を実現
(熊本→天草 3便 天草→熊本 4便)

○ 阿蘇くまもと空港と肥後大津駅間のシャトルバスの早期運行

阿蘇くまもと空港への公共交通での移動手段はリムジンバスのみで、定時性が担保されない

- ・県交通対策総室、関係自治体、交通事業者にて事業化に向け調整中

b. 観光地でのバス等の乗継ダイヤの充実

観光時間を考慮したバスダイヤとなっていないため、観光地での待ち時間が長い

観光地までの公共交通の便数が少なく、不便である

○ 観光時間を考慮したバスダイヤの調整

○ 観光客の多い時間帯におけるバスの増便

○ 土日限定での、乗り合いタクシーやミニバス等の運行

2. 交通アクセス案内

(1) 駅・電停・バスターミナル等での交通アクセス案内の統一

a. スムーズな乗継のための交通アクセス案内の統一

- 乗継拠点の駅・電停・バスターミナル等での交通アクセス案内表示の標準案内図記号への統一及び、4ヶ国語標記の実施

交通アクセス案内表示が駅によりバラバラで乗継場所等がわかりにくい

- ・子供から外国人までわかるように、J I S規格の標準案内図記号への統一及び、4ヶ国語（日本語、英語、韓国語、中国語）の標記

- 電停名等を大きく、わかりやすい名称・番号へ変更

市電電停名が小さく観光地とも合致しないため、わかりにくい

- ・観光地にあった名称に変更するとともに、番号等も併記し、外国人等へもわかりやすい表示へ変更

例) 市役所前→熊本城・市役所前、熊本城前→花畑町

- 熊本駅構内の乗継をわかりやすくするための表示等の設置

熊本駅改札を出てからの、乗継がわかりにくい

- ・新幹線を降りた乗客を在来線、バス、市電、タクシーなどの乗り場へスムーズに誘導するためのスペース・表示等の設置

(2) 観光地での案内サインの充実

a. バス・市電等下車後及び、観光地での案内サインの充実

- 観光地までの一定間隔での案内表示の設置及び、4ヶ国語標記の実施

バス下車後観光地まで、観光地内での案内表示が少なくわかりにくい

- ・岡山市や鹿児島市に設置されているような、わかりやすい案内表示が必要

b. 観光案内所の設置、観光パンフレットの充実

- 肥後大津駅への観光案内所の設置

肥後大津駅に観光案内所がなく、広域的な観光案内とそれに伴う効率的な移動がしにくい

- ・空港及び阿蘇方面への乗継拠点である肥後大津駅への観光案内所の設置

- 駅の規模、結節状況等を勘案し、県全体版、地域版、4ヶ国語標記等のパンフレットの設置

駅毎にパンフレットの種類、有無にばらつきがあり、情報収集が出来ず効率的な移動がしにくい

- 観光地までの公共交通を利用した総合的な案内図の作成

観光地を公共交通で結んだ地図等がないため、利用しにくい

3. 公共交通の利用促進

(1) 公共交通アクセス検索システムの早期導入

a. ルート、ダイヤ、料金等が検索可能なシステムの早期導入

o 鹿児島県や青森県に導入されている、公共交通アクセス検索システムの早期導入

公共交通のアクセスについて調べるシステムがないため、移動が難しい

- ・ 県公共交通総合案内システム運営協議会で開発中の「公共交通総合案内システム（仮称）」の早期導入

(2) 共通乗車券の導入

a. 熊本市内公共交通 1日・2日共通乗車券の導入

バス会社毎の1日乗車券しかなく、他会社のバスが利用できない

(3) 観光施策との連動と公共交通のPR

a. 観光地でのイベント等に対応した公共交通の整備

o 夜間イベント等に対応した公共交通の整備

夜間に観光地と結ぶ公共交通が少なく、移動がしにくい

o レンタサイクルの観光最寄駅への設置

観光地を巡るレンタサイクルが最寄駅になく利用できない

- ・ 水源巡りの最寄駅である阿蘇白川駅等へのレンタサイクルの設置

o 鉄道車両、バスなどでの観光用装飾・アナウンス等の実施

観光地への列車・バスに、通勤型車両が使用されており、観光の雰囲気にならない

b. 坪井川舟運の早期整備

- ・ 「坪井川舟運復活推進会議」にて検討中

c. 公共交通の利便性・経済性・環境適性の高さのPR

o 県外各地の駅・空港、観光情報誌、旅行会社、ホームページでのPR

o インパクトのあるキャッチフレーズの作成